

民主々義は日本人にとって、かけがえのない 守るには民主々義同盟国と

### 思い出そう トランプの言葉

トランプは言った、日本という国はアメリカが中国から攻撃されても、ソニーのテレビでそれを見ているだけではないのかと、だから日本にもっと果してもらおう義務があるのだ。日米安保条約は双務的に互いに助け合うものでなければ意味がないと、それがアメリカだ。

### バイデンはどうか

民主党はもともと、日本を敵視して、日米開戦へと進めた党です。そして日本に憲法九条を押しつけ、日本が二度と立ち上がれないよう、原爆を落とし、日本に駐留して日本の自立を抑えてきた党だ。バイデンはその民主党で、現在の米国内で財政を考え、同盟国への協力を求め、同盟国と共に、中国に対してその覇権主義を抑えようとする。今や米国は日本に本気になって、自分の国は自分で守れ、同盟国の為にも進んで協力しろと、言っているのだ。それは相互防衛協力の、日米安保の本質を言っているのだ。日本が決断をする時が迫っていますよ。

### コロナ騒動・もつと恐い国家の危機

武漢発ウイルスといわれる新型コロナウイルスの大騒動は単なる感染症問題だけではない。恐ろしい国家戦略、国家存立をかけた、戦いであることが明確になった。武漢では中国の世界制覇への、武器の一つ、感染症の研究が国家の目標として指示され、これの研究が進みつつある。世界も、これに対し感染抑制の研究が各国ともにあったが、まったく手遅れとなってしまった。日本に於いては感染症研究は、軍事研究だと、学術会議がこれをさせない。米国では国防の重要課題だと言って国防省が資金を出し、ワクチン製造に国をあげて臨み世界に供給している。国家の危機の意識が高いのだ。日本では米国頼みのワクチンを早くだの遅いのだのと、言いながら、本来議論すべき、国防の原点を論じていない。原点を見つめ、本来の国防を論じなければ、日本は何もしないで敗戦する。

### 国防に無関心な国は亡びる

昨年グアムと横須賀を母港とする米空母二隻に大規模なコロナ感染が発生してしまった。二隻とも任務に出られなくなったのだ。これを見た中国は一気に東アジアへの進出を見せた。要するに武漢ウイルスの流出は、世界の軍事バランスを崩す大事件でもあるのだ。この事実に向面しても、日本人は日中友好を言い、何もしない。憲法には平和の追求、個人の尊重は大事とされているが国家存立とは書かれていないのですよ。足立区の皆さん。

祝日には国旗を



足立区政務調査事務所

せぬま 剛 090-4073-5145 足立区

平和な国とは  
攻めさせない国